

1. 家族の状況

- ・子育てに日常的に関わっている人が、祖父母が減り、幼稚園・保育園の関与が大きくなっている
- ・また、緊急時に子どもを診てもらっていた祖父母や知人が減っている

→孤育て傾向

- ・小学生になってひとり親になるケースが高く、支援の必要性が高まっている

2. 就労状況

- ・母親がフルタイム・パートなどの働きにでる割合が増加中

→家計が厳しい

女性の社会進出

- ・子どもの成長に伴って、就業中の方が増大している
- ・また現在の主たる稼ぎ手は父親が中心

3. 平日の定期的な教育・保育の利用

- ・幼稚園の預かり保育のニーズが高くなっている

→14時から夕方までの預かれる場所を探している

潜在的な保育園ニーズもあるか

- ・未就学児を抱える家族の16.5%が、日ごろ子どもをみてもらえる人がいないと答えており、未就学児の保護者の支援が必要

4. 地域の子育て支援の利用

- ・新米ママ交流・乳幼児の健康相談も増えており、乳児の健康面での不安やママ同志の交流きかけ

→その奥にある孤育てによる幼児の健康不安が増大

- ・新米ママの交流会の役割をどう考えるか（はじめはいいが、継続利用の意向は低い）

5. 土日の利用希望が増大

- ・特に土曜日の利用希望が増大

→土日に就労希望が増えている

富良野は観光地であり、仕事は土日休みなしも増えているが、土日に預かってもらえる施設が少ない
需要と供給のバランスが悪い

6. 子どもの病気やケガ

- ・母親や父親が仕事を休み対応する一方で、祖父母などの近親者の対応が減少
- ・核家族化が進み、ちょっと見てくれる家族が周りにいない

7. 不定期の一時預かり

- ・ちょっとしたときに預けたいが、情報が届いていない

8. 小学生の放課後

- ・放課後こども教室・学童保育へのニーズが大幅に高まっているが、高学年では利用ニーズは減少し、低学年への対応強化が必要

9. 育児休業後の復帰

- ・短時間勤務制度を活用して、職場復帰したいニーズはあるが、職場にその制度の周知がされていない
理解されていない、取りづらいなどの空気が多い

10. 子育てに関する不安

- ・こどもの成長段階によらず、半数が不安・負担感が強く、不安や負担が軽減されていない

ニーズ調査の自由意見

●就学前ニーズ

- ・がん検診時のサポート
- ・保育園の12月～3月入園の円滑化
- ・妊娠・出産後の心のケアを詳しく書いたガイドブックQ & A
- ・子育て世代への家賃助成
- ・住宅への側面支援
- ・子ども用おむつ替えスペースの拡大へ

●就学後（小学生）ニーズ

- ・障がいのある子ども×親の孤立の支援
- ・公園の充実（エリアごと）
- ・習い事一覧
- ・転入時に子育て支援一覧・遊び場
- ・子どもの居場所不足
- ・給食の無償化
- ・水遊びの場所
- ・高学年が遊べる公園
- ・病院の感染リスクを軽減させる呼び出しシステム
- ・宿泊税による市内循環バス
- ・男子トイレのおむつ交換台
- ・予防接種無料化＝2019年4月～ロタワクチン・1人15,000円助成
おたふくかぜ1回3,500円助成（未就学時まで）
インフルエンザ1回1,000円助成（小学生までと・中3・高3）
- ・図書館2階スペース活用
- ・子育て世代の就職先確保
- ・学童保育センターの質向上
- ・観光プログラムの地元向けプログラム化（アクティブ）
- ・子育て支援センターの自由解放
- ・子どものためのおもちゃ屋誘致
- ・図書館の改善
- ・英会話スクール（ALT）
- ・小1の壁
- ・公園不審者見守り隊
- ・科学などの体験学習の場
- ➡観光産業が増えても、働く環境で預ける施設（保育園）
が閉まってしまうと、主婦は露頭に迷っている

前回との比較から

1. 就学前児童

前回 (2013年)	今回 (2018年)
384 回答/833 発送 回収率 46.1%	340 回答/722 発送 回収率 47.1%
<p>1. 家族の状況</p> <p>Q 子育てに日常的に関わっている人</p> <p>①父母ともに 72.7% ②幼稚園 34.1% ③祖父母 32% ⑤保育所 16.1% ⑦父親 3.1%</p> <p>Q 日頃子どもを見てもらえる親族・知人の有無</p> <p>①緊急時に祖父母に見てもらえる 58.9% ②日常的に祖父母に見てもらえる 29.9% ③緊急時に友人知人に見てもらえる 16.1% ④日常的に友人知人に見てもらえる 3.9% ⑤いずれもない 13.1%</p> <p>2. 就労状況について</p> <p>Q 母親の就労状況</p> <p>①以前は就労していたが現在はしてない 41.1% ②就労中/フルタイム 23.4% ③就労中/パートアルバイト 19.5% ④就労中/フルタイムで産休・育休・介護休暇中 9.1% ⑤就労中/パートアルバイトで産休・育休・介護休暇中 0.8% ⑥就労したことない 4.7%</p> <p>3. 平日の定期的な教育・保育の利用状況</p> <p>Q 利用実態</p> <p>①幼稚園 59.8% ②幼稚園の預かり保育 21.2% ③認可保育所 17.8%</p>	<p>1. 家族の状況</p> <p>Q 子育てに日常的に関わっている人</p> <p>①父母ともに 71.8%↓ ②幼稚園 37.4%↑ ③祖父母 27.1%↓ ⑤保育所 20.3%↑ ⑦父親 1.5%↓ →幼稚園・保育園 関与がUP</p> <p>Q 日頃子どもを見てもらえる親族・知人の有無</p> <p>①緊急時に祖父母に見てもらえる 51.2%↓ ②日常的に祖父母に見てもらえる 29.4%— ③緊急時に友人知人に見てもらえる 11.2%↓ ④日常的に友人知人に見てもらえる 2.4↓ ⑤いずれもない 16.5↑ →緊急時に見てもらえる人がいない方が増えている</p> <p>2. 就労状況について</p> <p>Q 母親の就労状況</p> <p>①以前は就労していたが現在はしてない 32.4%↓ ②就労中/フルタイム 29.4%↑ ③就労中/パートアルバイト 25.6%↑ ④就労中/フルタイムで産休・育休・介護休暇中 8.5%↓ ⑤就労中/パートアルバイトで産休・育休・介護休暇中 1.8%↑ ⑥就労したことない 2.1%↓ →就労中の方が増えている</p> <p>3. 平日の定期的な教育・保育の利用状況</p> <p>Q 利用実態</p> <p>①幼稚園 57.7%↓ ②幼稚園の預かり保育 29.7%↑ ③認可保育所 20.3%↑</p>

<p>④へき地保育所 9.1%</p> <p>⑤認可外私立保育所 8.7%</p> <p>⑥事業所内保育施設 5.7%</p> <p>⑦ファミリーサポートセンター1.1%</p> <p>4. 地域の子育て支援の利用状況</p> <p>Q 今後利用したい事業</p> <p>①母親学級：はい 26.3%</p> <p>②保健センターの乳幼児健康相談：はい 52.6%</p> <p>③家庭児童相談室の家庭児童相談：はい 27.6%</p> <p>④教育委員会・学校の教育相談：はい 37.2%</p> <p>⑤子育て支援センターの子育て相談：47.1%</p> <p>⑥母子自立支援員の母子相談：9.1%</p> <p>⑦子育て支援ガイドブック 63.3%</p> <p>5. 土日・休日・長期休暇中の「定期的な」な教育・保育事業の利用希望</p> <p>Q 土曜の利用希望</p> <p>①利用する必要ない 59.1%</p> <p>②ほぼ毎週利用したい 15.4%</p> <p>③月1～2回は利用したい 23.7%</p> <p>Q 日曜の利用希望</p> <p>①利用する必要ない 71.1%</p> <p>②ほぼ毎週利用したい 5.2%</p> <p>③月1～2回は利用したい 21.1%</p> <p>6. 病気の際の対応</p> <p>Q 子どもが病気やケガで通常の利用ができなかったこと</p> <p>①あった 70.8%</p> <p>②なかった 26.5%</p>	<p>④へき地保育所 7.7% ↓</p> <p>⑤認可外私立保育所 5.7% ↓</p> <p>⑥事業所内保育施設 7.7% ↑</p> <p>⑦ファミリーサポートセンター0.4% ↓</p> <p>→幼稚園の預かり保育へのニーズ増</p> <p>4. 地域の子育て支援の利用状況</p> <p>Q 今後利用したい事業</p> <p>①新米ママ交流会：はい 34.4% ↑</p> <p>②保健センターの乳幼児健康相談：はい 62.1% ↑</p> <p>③家庭児童相談室の家庭児童相談：はい 23.5% ↓</p> <p>④教育委員会・学校の教育相談：はい 37.9%—</p> <p>⑤子育て支援センターの子育て相談：44.7% ↓</p> <p>⑥母子自立支援員の母子相談：8.5% ↓</p> <p>⑦子育て支援ガイドブック 60.6% ↓</p> <p>→新米ママ・保健センターの乳幼児健康相談が増えており、他との関連から、乳児の健康への不安を共有できる場を探している</p> <p>5. 土日・休日・長期休暇中の「定期的な」な教育・保育事業の利用希望</p> <p>Q 土曜の利用希望</p> <p>①利用する必要ない 50.0% ↓</p> <p>②ほぼ毎週利用したい 18.8 ↑</p> <p>③月1～2回は利用したい 30.3% ↑</p> <p>→土曜日へのニーズが高まっている</p> <p>Q 日曜の利用希望</p> <p>①利用する必要ない 70.3% ↓</p> <p>②ほぼ毎週利用したい 4.1% ↓</p> <p>③月1～2回は利用したい 23.8% ↑</p> <p>→日曜日は、土曜日ほど利用希望は高まっていない</p> <p>6. 病気の際の対応</p> <p>Q 子どもが病気やケガで通常の利用ができなかったこと</p> <p>①あった 80.1% ↑</p> <p>②なかった 18.3% ↓</p> <p>→病気時の対応ニーズが増えている</p>
---	--

<p>Q 利用できない場合の対処方法</p> <p>①母親が休んだ 58.3%</p> <p>②就労していない保護者がみた 32.6%</p> <p>③親族・知人にみてもらった 27.8%</p> <p>④父親が休んだ 16.6%</p> <p>Q 望ましい病児・病後児保育施設の形態</p> <p>①小児科併設の施設 75.9%</p> <p>②他施設併設の施設 44.4%</p> <p>③地域住民等が身近な場所で保育 29.6%</p> <p>7. 不定期の一時預かりの利用</p> <p>Q 利用していない理由</p> <p>①特に利用する必要がない 79.1%</p> <p>②利用方法がわからない 16.1%</p> <p>③利用料がかかる・高い 15.8%</p> <p>④対象者がわからない 8.1%</p> <p>⑤地域にない 6.2%</p> <p>⑥利便性がよくない 4.0%</p> <p>⑦質に不安がある 3.3%</p> <p>8. 小学校就学後の放課後の過ごし方</p> <p>Q 低学年時に放課後を過ごさせたい場所</p> <p>①自宅 52.6%</p> <p>②学童保育 47.4%</p> <p>③習い事 42.3%</p> <p>④祖父母や友人知人 16.7%</p> <p>⑤児童館 16.7%</p> <p>⑥放課後こども教室 15.4%</p> <p>⑦児童通所支援施設 2.6%</p> <p>⑦ファミリーサポートセンター 1.3%</p>	<p>Q 利用できない場合の対処方法</p> <p>①母親が休んだ 75.1% ↑</p> <p>②就労していない保護者がみた 21.3% ↓</p> <p>③親族・知人にみてもらった 26.4% ↓</p> <p>④父親が休んだ 30.5% ↑</p> <p>⇒近親者ではなく、母親・父親の対応が増えている</p> <p>Q 望ましい病児・病後児保育施設の形態</p> <p>①小児科併設の施設 67.2% ↓</p> <p>②他施設併設の施設 24.6% ↓</p> <p>③地域住民等が身近な場所で保育 8.2% ↓</p> <p>⇒小児科併設は下がっているが集約傾向</p> <p>7. 不定期の一時預かりの利用</p> <p>Q 利用していない理由</p> <p>①特に利用する必要がない 75.3% ↓</p> <p>②利用方法がわからない 17.1% ↑</p> <p>③利用料がかかる・高い 17.4% ↑</p> <p>④対象者がわからない 11.7% ↑</p> <p>⑤地域にない 7.9% ↑</p> <p>⑥利便性がよくない 2.2% ↓</p> <p>⑦質に不安がある 7.9% ↑</p> <p>⇒利用全般の情報がわからない方が増え、一時預かりへの不安が拡大している</p> <p>8. 小学校就学後の放課後の過ごし方</p> <p>Q 低学年時に放課後を過ごさせたい場所</p> <p>③自宅 44.1%</p> <p>②学童保育 58.8% ↑</p> <p>④習い事 33.1%</p> <p>⑥祖父母や友人知人 11.0% ↓</p> <p>⑤児童館 5.1% ↓</p> <p>①放課後こども教室 66.2% ↑ 大幅</p> <p>⑦児童通所支援施設 2.9% ↑</p> <p>⑤ファミリーサポートセンター 18.4% ↑</p> <p>⇒子ども教室・学童保育・ファミリーサポートへのニーズが大きく高まっている</p>
---	---

<p>9・短時間勤務制度の利用有無</p> <p>Q 母親：育児休業後に職場復帰した</p> <p>①利用する必要なかった 21.3%</p> <p>②利用した 36.1%</p> <p>③利用したかったが利用しなかった 39.3%</p> <p>Q 短時間勤務制度を利用しなかった理由</p> <p>①職場に取りにくい雰囲気があった 54.2%</p> <p>②仕事が忙しかった 45.8%</p> <p>③職場に短時間勤務制度がなかった 29.2%</p> <p>④制度を利用できることを知らなかった 20.8%</p> <p>⑤短時間勤務にすると給与が減らせる 12.5%</p> <p>⑥制度を利用する必要なかった 8.3%</p> <p>⑦保育所の入所申請の優先順位が下がる 0%</p> <p>10. 子どもに関する施策</p> <p>Q 重点的に取り組むべき子育て支援環境</p> <p>①保育サービスの充実 49.7%</p> <p>②小児救急医療などの小児科充実 47.4%</p> <p>③子育てに伴う経済的支援の充実 43.8%</p> <p>④放課後児童クラブ・子ども教室の充実 37.2%</p> <p>⑤安心して妊娠・出産ができる医療体制の充実 36.7%</p> <p>⑥仕事と子育ての両立の支援 29.2%</p> <p>⑦保育園などの子育て支援関連施設の整備 27.3%</p>	<p>9・短時間勤務制度の利用有無</p> <p>Q 母親：育児休業後に職場復帰した</p> <p>①利用する必要なかった 23.2% ↑</p> <p>②利用した 20.3% ↓</p> <p>③利用したかったが利用しなかった 50.7% ↑</p> <p>→ニーズがあるのに、利用できない問題が複雑化している</p> <p>Q 短時間勤務制度を利用しなかった理由</p> <p>①職場に取りにくい雰囲気があった 48.6% ↓</p> <p>②仕事が忙しかった 42.9% ↓</p> <p>③職場に短時間勤務制度がなかった 42.9% ↑</p> <p>④制度を利用できることを知らなかった 11.4% ↓</p> <p>⑤短時間勤務にすると給与が減らせる 25.7% ↑</p> <p>⑥制度を利用する必要なかった 11.4% ↑</p> <p>⑦保育所の入所申請の優先順位が下がる 5.7%</p> <p>→短時間勤務へのニーズが高まるが、様々な障壁が</p> <p>10. 子どもに関する施策</p> <p>Q 重点的に取り組むべき子育て支援環境</p> <p>①室内の子どもの遊び場 65.0% ↑ 新規</p> <p>⑤保育サービスの充実 41.8% ↓</p> <p>③小児救急医療などの小児科充実 46.2% ↓</p> <p>④子育てに伴う経済的支援の充実 43.8% —</p> <p>⑦放課後児童クラブ・子ども教室の充実 28.8% ↓</p> <p>②安心して妊娠・出産ができる医療体制の充実 53.8% ↑</p> <p>⑥仕事と子育ての両立の支援 29.1%</p> <p>⑦保育園などの子育て支援関連施設の整備 27.3%</p> <p>→室内の遊び場（過ごす場所のニーズの高まり） 医療との両輪がニーズ増</p>
--	--